

プレスリリース

特別展「ポップ・アート 時代を変えた4人」



アンディ・ウォーホル

Andy Warhol



アンディ・ウォーホル《マリリン》1970年

ジャスパー・ジョーンズ

Jasper Johns



ジャスパー・ジョーンズ《モラトリアム》1969年

ロバート・ラウシェンバーグ

Robert Rauschenberg



ロバート・ラウシェンバーグ《自由の女神》
1963年

ロイ・リキテンスタイン

Roy Lichtenstein



ロイ・リキテンスタイン《スイート・ドリームズ、
ベイビー！》1966年

みどころ

- 「ポップ・アート」とは、1960年代のアメリカ等を中心に発展した芸術動向。現代生活や大衆文化をテーマにした作品は、その後の芸術の方向性を大きく変えました。
- 本展ではロイ・リキテンスタイン、ジャスパー・ジョーンズ、ロバート・ラウシェンバーグ、アンディ・ウォーホルという、「ポップ・アート」を代表する4人の作品を展示。
- 本展出品作品は、スペイン出身のコレクター、ホセルイス・ルペレス氏が所蔵する版画やポスター約120点。すべて日本初公開。

作品は全て Joseluis Rupérez Collection 所蔵

POP ART:
THE
FAB4!
& 4 SPECIAL GUESTS



特別展「ポップ・アート 時代を変えた4人」

【概要】

1960年代、アメリカなどを中心に発展した芸術動向、「ポップ・アート」。大量生産された商品、広告やコミック、著名人のポートレートなどをモチーフに、現代生活や大衆文化をテーマとした作品は色鮮やかに、そして時には社会風刺的に表され、その後の芸術の方向性を大きく変えました。本展ではロイ・リキテンスタイン、ジャスパー・ジョーンズ、ロバート・ラウシェンバーグ、アンディ・ウォーホルというアメリカのポップ・アートを代表する4人のアーティストを中心に、同時代に活躍したロバート・インディアナ、ジェームズ・ローゼンクrist、トム・ウェッセルマン、ジム・ダインも合わせて紹介します。

本展の展示作品はスペイン出身のコレクター、ホセリス・ルペレス氏が所蔵する版画やポスター約120点で、すべて日本初公開。時代を席巻したポップ・アートの作品の数々をぜひご覧ください。

【展示構成】

- 第1章 ザ・シクスティーズ
- 第2章 戦争をしないで、恋をしよう（音楽を奏でよう）
- 第3章 ポップ・アート、ファッションと出会う
- 第4章 ロイ・リキテンスタイン
- 第5章 アンディ・ウォーホル
- 第6章 ロバート・ラウシェンバーグ
- 第7章 ジャスパー・ジョーンズ
- 第8章 ロバート・インディアナ
- 第9章 ジェームズ・ローゼンクrist
- 第10章 トム・ウェッセルマン
- 第11章 ジム・ダイン
- 第12章 1セント・ライフ

アンディ・ウォーホル 《キャンベル・スープ／
アンディ・ウォーホル [フェラス・ギャラリー]》
1962年



アンディ・ウォーホル

Andy Warhol



アンディ・ウォーホル《マリリン》1970年



アンディ・ウォーホル《キャンベル・スープ／
アンディ・ウォーホル [フェラス・ギャラリー]》1962年

アンディ・ウォーホル（1928－1987）は1962年に連作〈キャンベル・スープ〉を制作、大量生産と反復をテーマにした作品は大きな反響を呼びました。その後は惨事の現場、マリリン・モンローといった著名人の肖像画連作をシルクスクリーンで制作し、マスメディアやセレブリティをテーマにした作品を発表しました。「ザ・ファクトリー」と呼んだニューヨークのアトリエでは映像作品の制作にも取り組み、パフォーマンス・アート、インスタレーション、執筆など、幅広く活躍しました。

本展では色鮮やかなマリリン・モンローの連作などを中心に、ウォーホルの代表的なイメージを概観します。



アンディ・ウォーホル《牛》1971年



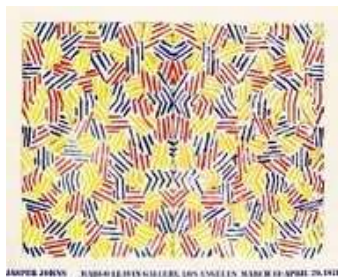
アンディ・ウォーホル《花》1970年

ジャスパー・ジョーンズ

Jasper Johns



ジャスパー・ジョーンズ《モラトリウム》
1969年



ジャスパー・ジョーンズ《死体と鏡[マル
ゴ・リーヴィン・ギャラリー]》1978年

ジャスパー・ジョーンズ（1930-）は1954年にアメリカ国旗をモチーフにした《旗》（ニューヨーク近代美術館蔵）をエンコースティック（蝋画）などで表しました。それ以来、星条旗の他に数字、円形の反復が特徴的な射撃の標的、アルファベットの文字といった「頭で既に知っているもの」をモチーフとした、作品を制作しました。1970年代からはハッチング（陰影をつけるための斜線）が画面全体を埋め尽くす作品も制作しました。

本展では星条旗、標的など、ジョーンズの代表的なモチーフを含む版画作品を展示します。



ジャスパー・ジョーンズ《マース・カニン
ガム舞踏団（標的）》1968年

ロバート・ラウシェンバーグ

Robert Rauschenberg



ロバート・ラウシェンバーグ《自由の女神》
1963年

ロバート・ラウシェンバーグ（1925－2008）は1954年からは身の回りのものを作品に取り込む〈コンバイン〉連作の制作を開始し、翌年には使い込んだ寝具に絵の具などを加えた代表作《ベッド》（ニューヨーク近代美術館蔵）を制作しました。振付師マース・カニングハムの舞踏団の衣装や舞台美術を制作するなど、コラボレーションも多く、1984年には芸術をととして相互理解を図る「ラウシェンバーグ海外文化交流（ROCI）」を立ち上げるなど、多岐にわたって活躍しました。

本展では1960年代から取り組み始めた版画作品を展示します。



ロバート・ラウシェンバーグ《ROCI USA
[ワシントン・ナショナル・ギャラリー]》
1990年

ロイ・リキテンスタイン

Roy Lichtenstein



ロイ・リキテンスタイン 《スイート・ドリームズ、ベイビー！》1966年



ロイ・リキテンスタイン 《船上の少女》1965年

ロイ・リキテンスタイン（1923–1997）は1961年、《ごらん、ミッキー》（ワシントン・ナショナル・ギャラリー蔵）を皮切りに、代名詞ともなるコミックストリップのイメージを引用した絵画制作を開始。レタリングや吹き出しを絵画に盛り込んだだけでなく、コミックで多用される印刷技法のベンデイ・ドットを直接参照するなどしました。その後は美術史上の作品や作風を参照した作品を制作するようになり、ピカソやポロックといった著名な芸術家の作品を自らのスタイルで再解釈しました。

本展ではリキテンスタインが参照した元のコミックも一部展示し、その創作過程を垣間見せます。



ロイ・リキテンスタイン 《リンカーン・センター》1966年

【関連イベント】

○ワークショップ「シルクスクリーンでオリジナルトートバッグを作ろう！」

シルクスクリーンはポップ・アート作品にしばしば使われる版画技法です。

その技法を使って、トートバッグに自分だけのデザインを単色で刷ります。

日 時：8月10日(日)午後1：30～4：00

対 象：小学生以上（低学年は保護者の付添可）

定 員：20名程度

集合場所：工房

持 ち 物：トートバッグはこちらでご用意します。（ご希望の方は無地のTシャツをご持参ください。）

申込方法：お電話でお申込ください。Tel: 055-228-3322

申込期間：7月10日(木)午前9：00～定員になり次第締切

※参加無料

○担当学芸員によるギャラリートーク

日 時：7月21日(月・祝)

① 午前10：30～（リキテンスタイン、ウォーホルを中心に）

② 午後2：30～（ラウシェンバーグ、ジョーンズを中心に）

集合場所：特別展示室入口

※申込不要 ※参加無料、特別展チケットが必要

○関連映画会「アドバンスド・スタイル そのファッションが、人生」（2014年、72分）

お洒落を楽しむ60代以上のニューヨークの女性たちのファッションと人生の哲学を追ったドキュメンタリー。（音声：英語／字幕：日本語）

日 時：7月19日(土)午後1：30～

定 員：先着80名

場 所：講堂

※申込不要（午後1：00より会場にて整理券配布） ※鑑賞無料

○Gallery Tour in English（英語でギャラリートัวร์）

Time and Date：Saturday, August 9th 2:00PM～

Meeting Place：Special Exhibition Gallery Entrance

※Reservation not required. Participation is free. Ticket required for entry into gallery.



ロバート・インディアナ 《LOVE》1967年

開催概要

名称：特別展「ポップ・アート 時代を変えた4人」
会場：山梨県立美術館 特別展示室
会期：2025（令和7年）7月12日（土）～8月24日（日）
休館日：7月14日（月）、22日（火）、28日（月）、8月4日（月）、18日（月）
開館時間：9:00～17:00（入館は16:30まで）
主催：山梨県立美術館
後援：アメリカ大使館、スペイン大使館、NHK甲府放送局、山梨日日新聞社・山梨放送、テレビ山梨、テレビ朝日甲府支局、朝日新聞甲府総局、毎日新聞甲府支局、読売新聞甲府支局、産経新聞甲府支局、共同通信社甲府支局、時事通信社甲府支局、山梨新報社、日本ネットワークサービス、エフエム富士、エフエム甲府
協力：日本航空、山梨交通
企画協力：ブレントラスト

プレスツアー開催のご案内

担当学芸員が展覧会をご案内いたします。

日時 7月11日（金）10:00～10:45（受付9:30～）※内覧は13:00まで

※11:00以降はオープニングセレモニー関係者も内覧時間となりますので、ご了承ください。



観覧料

一般：1,000（840）円、大学生：500（420）円

- *（ ）内は20名以上の団体料金、前売券、県内宿泊者割引料金
- *高校生以下の児童・生徒は無料
- *大学生と高校生は学生証等持参
- *県内在住の65歳以上の方は無料、年齢が分かるものをご提示ください
- *障害者手帳をご持参の方およびその介護をされる方は無料
- *前売券は、山梨県立美術館で2025年6月12日（木）から7月11日（金）まで販売

交通アクセス

●電車・バス

JR中央本線甲府駅より

- ・JR甲府駅バスターミナル（南口）1番乗り場より、39系統 御勅使、03・04系統 竜王駅経由敷島営業所、35系統 大草経由韮崎駅、30系統 貢川団地各行各きのバスで約15分、「山梨県立美術館」下車。

※当館ホームページからもバスの時刻表をご覧ください。

- ・タクシーで約15分

●車

中央自動車道

- ・甲府昭和インターチェンジより約10分
- ・双葉スマートインターチェンジより約10分 ※ETC専用

中部横断自動車道

- ・白根インターチェンジより約20分

●甲府駅までの主な公共交通機関

- ・JR新宿駅より JR中央本線特急あずさ・かいじで約1時間30分

お問い合わせ先・取材申し込み先

〒400-0065 山梨県甲府市貢川1-4-27 TEL：055-228-3322 FAX：055-228-3324

- 取材・画像使用等に関する問い合わせ：山梨県立美術館 指定管理者 芸術の森みらいデザイン 広報担当 興石（コシイシ）・河野（コウノ） spsyamanashipr@sps.sgn.ne.jp
- 展覧会内容に関する問い合わせ：山梨県立美術館 学芸課 下東（シモヒガシ）